



日本は海の上にいるの

海の下で、アジア大陸とつながっている

日本は、アジア大陸の東のはしにそって、弓なりに連なっている島国です。日本の東には太平洋が広がり、北と西には、日本海・東シナ海などがあって、アジア大陸とへだてられています。

日本の国土は、北海道・本州・四国・九州の4つの大きな島と、沖縄島をはじめとする多くの島々からなりたっていて、これらの島々は、日本列島とよばれています。

この日本列島は、ずっと大昔には、アジア大陸の一部でしたが、その後、地球の活動の結果、アジア大陸と海でへだてられて、現在の姿になったのです。

日本列島とアジア大陸の間は、海でさえぎられていますが、海の水をとってしまうと、陸続きになってしまいます。つまり、日本列島は、海の上にいるのではなく、大陸につながっているのです。

太平洋側にある深いみぞ

日本列島の太平洋側は、急に深くなっていて、海の底は1万メートル近く深くなっています。海の底で、特に深くぼみが、細長く続いている所を「海溝」といいますが、日本のまわりには、千島・カムチャツカ海溝(9550メートル)、日本海溝(8020メートル)、伊豆・小笠原海溝(9780メートル)、南西諸島海溝(7460メートル)などの海溝があります。(監修・保岡 孝之)

